

三朝町地方創生案作成のポイント（2. 実践編）

—— 「よそ者」視点による夢物語も含めて

現状認識

- ・主たる本源的産業は、観光関連と医療・福祉
- ・農業生産は、米、梨、畜産の順。 製造業は、大きな工場が1つある程度
- ・三朝温泉が、あらゆる面でシンボル（高濃度ラジウム温泉、仏との交流）
- ・清流の存在（きぬむすめ、小鹿溪）
- ・経済生活圏として、倉吉市とのつながりが不可欠
- ・岡山との交易・交流も盛ん（岡山大学との連携が多数目立つ）
- ・コンパクトシティ化は、インフラ老朽化時代に生残るための全国共通要件（生活利便性、生産性向上、教育の質確保など、あらゆる面で必須）

三朝町観光地の魅力（ミッシュランガイド分類のイメージ）

☆☆☆：三朝温泉（高濃度ラジウム温泉、歴史、インフラ）

☆☆　：三徳山投入堂（日本遺産）

☆　　：小鹿溪

→ 交流人口増加は、三朝温泉の活性化が柱

経産省「都道府県の地域経済分析」に記述された「倉吉経済圏」（鳥取中部）の特徴

- ・第一次産業：特化係数は全国平均以上であるが、労働生産性指標は全国平均を下回っている。
- ・製造業：電子部品・デバイス、電子回路、食料品、木材・木製品の特化係数が高く、産業集積が形成されていると考えられる。
労働生産性指標については、1業種（木材・木製品）において全国平均以上となっているが、全国平均の2倍以上となる業種は存在しない。
- ・第三次産業：13業種中5業種において特化係数が全国平均以上となっており、複合サービス事業がもっとも高くなっている。
労働生産性指標については、2業種について全国平均以上となっており、宿泊業、飲食サービス業がもっとも高くなっている。

上記を踏まえた戦略策定のポイント（他地域の成功事例を念頭に）

- ・ 交通利便性の確保（生活面、観光面、産業振興面ともに）
 - 駅からも倉吉中心街からも離れ、鉄道とバスの接続も良くない
路線バスは閑古鳥。各旅館が送迎バスを個々に配車。
ミニバスでよいから、頻発・安価にできないか
(駅⇔白壁⇔未来中心⇔三朝町役場⇔三朝温泉→三佛寺)
 - 車アクセスの将来展望も、長期的課題として不可欠

- ・ 温泉の魅力アピール
 - キュリー祭だけでなく、ラジウム温泉の効能を上手にアピール
学術論文を作り、それを論拠にアピール強化（書籍執筆も一案）
(参考例) 秋田県玉川温泉
放射線ホルミシス効果を分かりやすく
視覚的に分かる物やストーリー性ある説明はできないか
飲泉効果をもっとアピールできるのでは？

- ・ 温泉滞在の魅力の増加
 - 温泉本通りの充実化は引続き進める
宿泊客が必ず本通りを歩きたくなる工夫を（照明、利用券など）
 - 日帰り客への対応強化
 - 日帰り訪問時の印象の良さが、宿泊につながる
昼食施設の充実（個別対応困難なら、飲食施設共通化・出前も）
現状では、昼食対応している旅館情報の入手が困難
(昼食客への入湯料もセットで)
 - 休憩場所の提供（平日の大広間開放など）
 - 仮に通常期は価格相場感が合わなくても、冬場なら？
→ 昼食カニ鍋・フルコースは、関西客には割安感
 - 連泊・湯治に向けた対応強化
白壁・打吹・未来中心地区を「三朝の庭(散策道)」と位置付け
医療施設（三朝温泉病院）とのタイアップによる現代湯治

- ・老齡者受入施設の充実
 - 介護保険の仕組み変更を前提に、温泉介護施設（既存施設の活用）
 - 関西圏富裕層の老齡施設とすれば、折に触れ家族が訪れる
 - 外食、宿泊に対するリピート需要
 - 病院がすぐ近くにあるとの安心感
 - 県中部地区にC C R C建設なら、その移住者の日帰り需要を捉える

- ・農業の6次産業化
 - （三朝温泉来訪客の消費効果を、町外・県外に流出させないとの観点）
 - 三朝温泉地域で消費される食材の地産地消を進めるだけで6次化
 - 農家レストラン形態での昼食提供も？

- ・フランスとの交流を観光客誘致にも活用
 - ミッシュランガイドへの売込み（高濃度ラジウムが宣伝文句）
 - ミッシュランに載ると、日本人・アジア人が増える！
 - ヨーロッパ田舎町の雰囲気作り？

- ・外国人客の誘致
 - いっそのこと、アジア系企業に旅館経営参加させてみたら？
 - （参考）加賀屋の台湾進出は大成功

- ・移民の活用について
 - 海外では一般的かつ有用。ただし、日本では非常に抵抗感強い。
 - まずは、看護婦、仲居さんなど。
 - 台湾系食材工場誘致も一案？（東アジア富裕層向け食材輸出）

- ・コンパクトシティ化
 - 町役場周辺と温泉地の2つが核
 - バス路線沿いに住居地を集中（串と団子の関係、福井モデル）

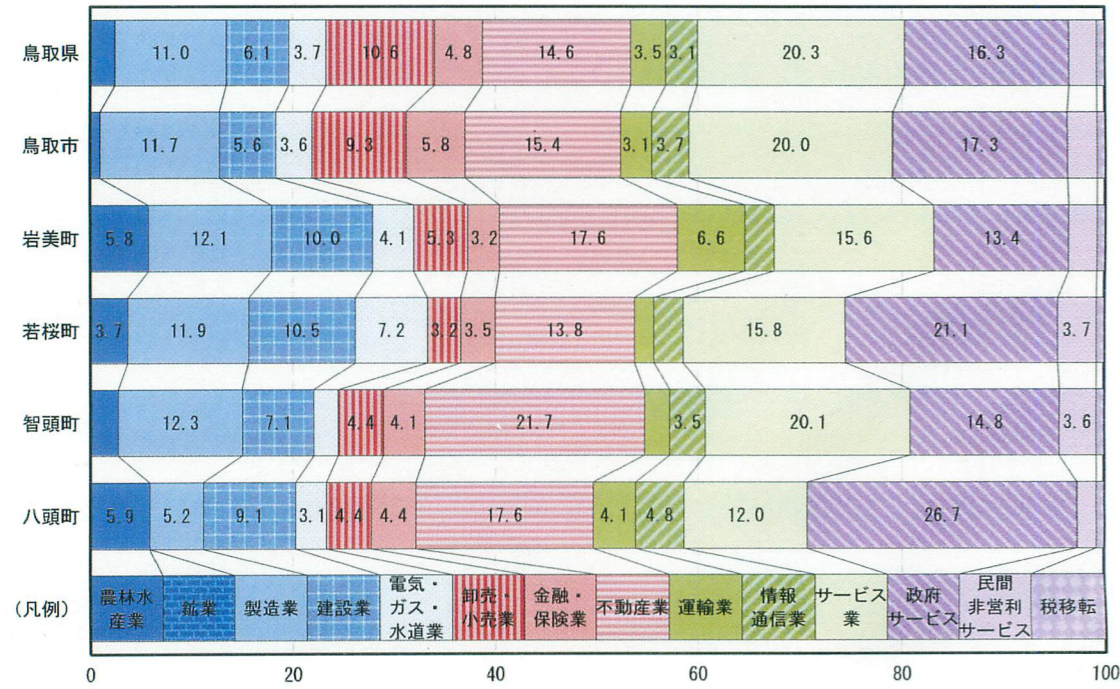
実施に際しての留意点

- ・戦略内容について、町民意識を揃える
(温泉振興が全員にプラス、旅館サポートが目的ではない、との合意)
- ・戦略の目指す「方向性」を常に意識し、それに合致させるように各人が対応
 - 個々の施策を何のためにやっているのか、方向性との関係を意識
 - その方向性に合致するように、個別案件に合目的的に対応

東部圏域

- 県全体と比べ、岩美町、若桜町の建設業、八頭町の政府サービス生産者などの構成比が大。

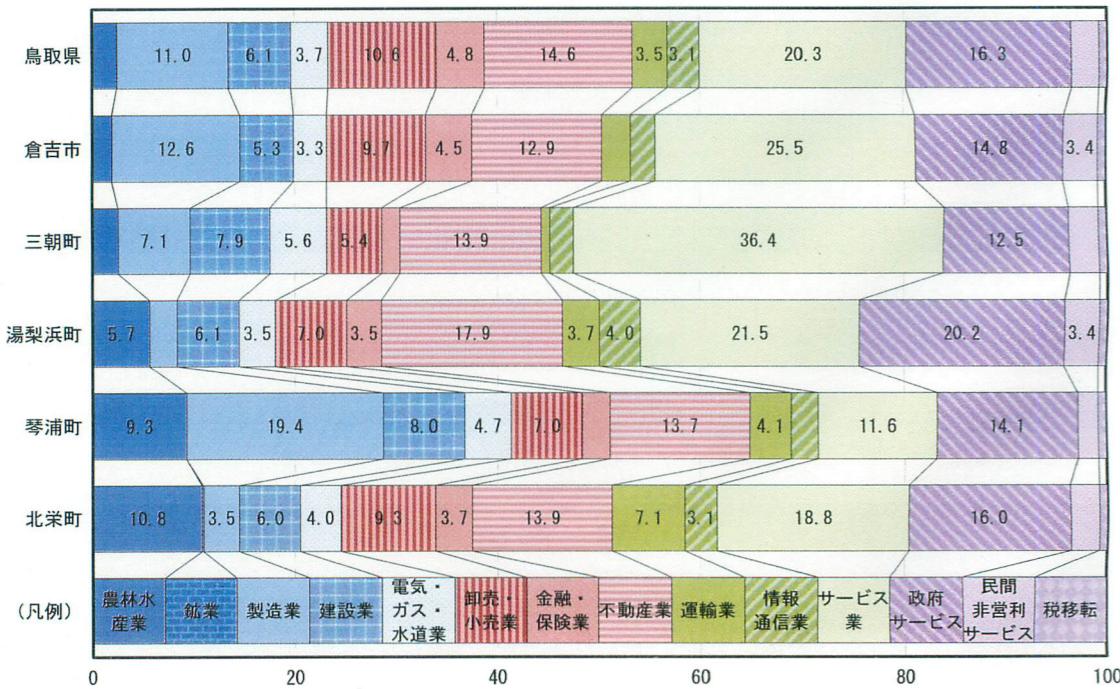
平成24年度市町村内総生産の経済活動別構成比：東部圏域 (%)



中部圏域

- 県全体と比べ、琴浦町、北栄町の農林水産業、三朝町のサービス業などの構成比が大。

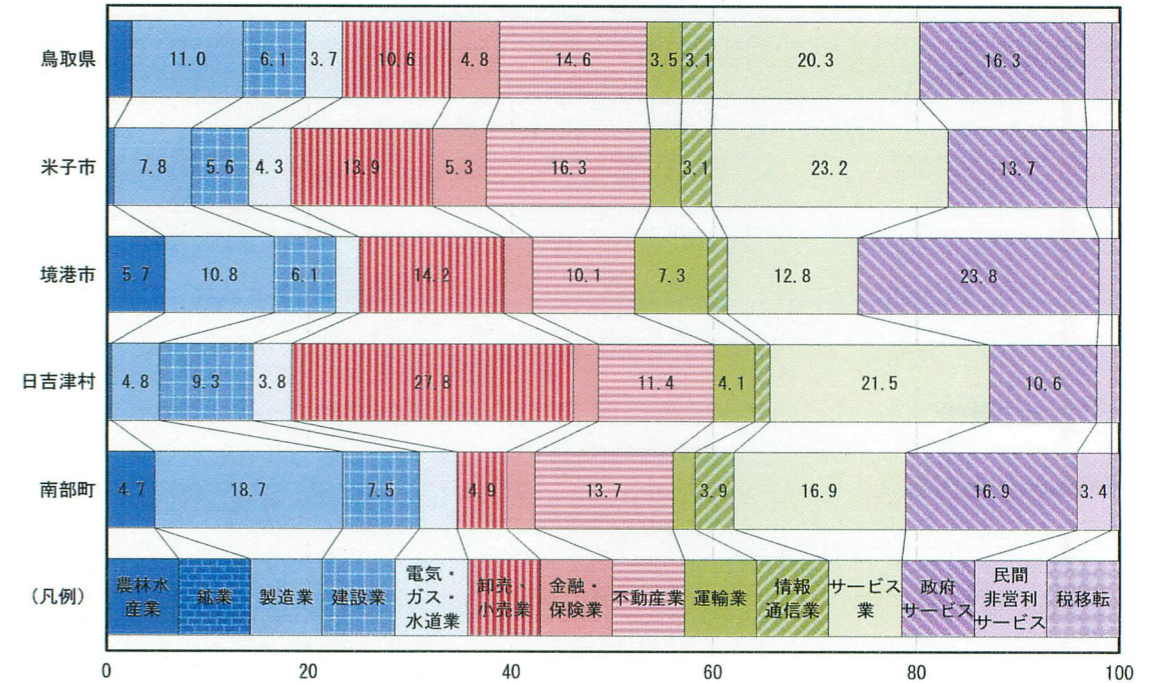
平成24年度市町村内総生産の経済活動別構成比：中部圏域 (%)



西部圏域

- 江府町の製造業の構成比が、前年度よりさらに拡大。
- 県全体と比べ、大山町、日南町の農林水産業、日吉津村の卸売・小売業、日野町の政府サービス生産者などの構成比也大。

平成24年度市町村内総生産の経済活動別構成比：西部圏域1 (%)



平成24年度市町村内総生産の経済活動別構成比：西部圏域2 (%)

